

(研究紀要第80号 分類基準F10-01)

テーマ 情報活用能力の育成に関する研究

(第2年次)

要

本研究は、来るべき高度情報社会に生きる児童生徒に、情報を主体的に活用することができる能力を育成することを目指して、その育成環境と手だてを追究するものである。本年度は第2年次として、初年度に構築した理論に基づき、児童生徒たちを「情報活用能力が育成された状態像」に近づけるために、小・中・高校の各校種ごとに研究協力校を依頼して授業を実践してきた。その実践結果と2年間の研究をまとめたものである。

旨

(研究紀要第78号 分類基準E4-06)

テーマ 学校の経営過程における現職研究のあり方に関する研究 ——自己啓発を促す校内研究のあり方に関する研究——

(第3年次)

要

本研究は、現職研究(校内研究)の活性化と質的充実を目指して、組織成員である先生方各自の自己啓発をどう促したらよいか、意識態勢・組織体制・企画運営のあり方・すすめ方を追究したものである。本年度は、第2年次に作成した「校内研究のあり方・すすめ方」試案を研究協力校の実践にもとづく修正意見を集約し、試案の修正改善を図ったものである。

旨

(研究紀要第81号 分類基準F9-01)

テーマ 事例を通じた教育相談の進め方に関する研究

——予防的な指導援助——

(第2年次)

要

本研究のねらいは、教育相談において、より的確で効果的な「予防的な指導援助のあり方」を確立することである。

第2年次は、第1年次に明らかにした、予防的な指導援助に必要な12の要点的な基本的対応が、問題行動の予防に有効であることを確認できた。

要点的な基本的対応を具体化した内容は、指導援助に十分活用できた。また、調査・検査の望ましいあり方は、予防的な指導援助を必要とする児童生徒の把握と、指導援助の効果を確かめるのに役立つものであった。

旨

(研究紀要第79号 分類基準F2-01)

テーマ 基礎・基本の定着と個性の伸長に関する研究

(第3年次・実践研究)

要

本研究は、個性重視の原則に立ち、基礎的・基本的な内容を身につけさせる過程を通して、更にそれを基盤としながら一人一人の個性を生かし、伸ばす指導の在り方を実践的に追究するものである。

本年度は、第3年次として、前年度までの研究成果を基に小学校図画工作科、中学校英語科について協力校での授業実践を通して、「よさ」を生かす学習指導の在り方を追究した。

旨